

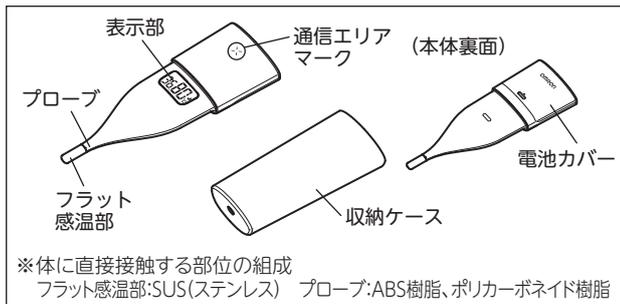
オムロン 婦人用電子体温計 MC-642L

【禁忌・禁止】

- ・検温結果の自己診断、治療は危険です。医師の指導に従ってください。
[自己診断は、病気が悪化する原因になります。]
- ・人の検温以外に使用しないでください。
[動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。]
- ・本製品は口中用の体温計です。口中以外(わきや耳など)で検温しないでください。
[正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。]
- ・本体が水などでぬれた状態で検温しないでください。
[正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。]
- ・感温部を含むプローブを噛み切らないでください。
[事故や故障の原因になります。]
- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、お子様だけのご使用はさけてください。
[自分で測ろうとしてけがをする原因になります。]
- ・電池や電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
[乳幼児が電池や電池カバーを飲み込む恐れがあります。]
- ・電池を加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。
[破裂などにより、けがの原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



2. 構成

標準付属品

- | | |
|----------------------|----|
| お試し用電池(リチウム電池CR2032) | 1個 |
| スタートアップガイド | 1部 |
| 取扱説明書(品質保証書付き) | 1部 |
| 医療機器添付文書(本書)・EMC技術資料 | 1部 |

3. 作動・動作原理

本製品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、測定開始から約10秒後の予測値を実測測定終了(約5分間)まで表示し、それ以降は、実測値の最高温度を0.01℃単位で表示する電子体温計である。

4. 本体寸法及び質量

- 外形寸法 : 39(幅)×103(長さ)×16(厚さ)mm(本体のみ)
質量 : 約33g(収納ケース、電池含む)

5. 電気的定格

- 電源 : リチウム電池CR2032×1個(DC3V)
電撃保護 : 内部電源機器 B形装着部
消費電力 : 0.01 W

6. 性能及び安全性に関する規格等

- 最高温度保持機能 : 実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
デジタル表示 : 実測した体温をデジタル表示する
最大許容誤差 : ±0.05℃(35.00~38.00℃)
±0.10℃(32.00~34.99℃, 38.01~42.00℃)

※標準室温23℃にて恒温水槽で実測測定した場合
※試験は JIS T 1140:2005による

- 電源電圧 : JIS T 1140:2005に適合
防 浸 : JIS T 1140:2005一部防浸形に適合
測温範囲 : 32.00~42.00℃
最小表示単位 : 0.01℃
測定範囲外告知 : 32.00℃未満のとき「L」を表示、
42.00℃を超えるとき「H」を表示

- 感温部 : サーミスタ
測定方式 : 予測・実測(ピークホールド方式)

体温表示 : デジタル表示4桁+℃表示、0.01℃毎
使用環境周囲温度 : +10~+40℃ 相対湿度:30~85%RH

7. EMC適合

本製品はEMC規格IEC 60601-1-2:2007に適合しています。

【使用目的又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。体温計の感温部を舌下に接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。婦人用。口中用。

【使用方法等】

1. 収納ケースから本体を取り出すと、自動的に電源が入ります。
2. 「L」が表示されたら感温部を舌下のつけ根にあて、口を閉じます。
3. 予測検温を終了するまで、本体を保持します。
4. 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。
5. 予測検温のみの場合は、本体を収納ケースに入れます。収納ケースに入れると、自動的に電源が切れます。
実測検温の場合はそのまま検温を続けます。
6. 予測検温開始から約5分で測定が終了しブザー音が鳴ります。
7. 実測検温結果を確認し、本体を収納ケースに入れます。収納ケースに入れると、自動的に電源が切れます。

詳細については、取扱説明書をよくお読みください。

検温値を外部へ転送する場合

あらかじめ健康サポートサービスに登録をおこない、携帯電話、スマートフォンを体温計にかざします。パソコンへ転送する場合は、パソコンと専用USB通信トレイを接続し、トレイに体温計をおきます。

詳細については、スタートアップガイドをよくお読みください。

【使用上の注意】

1. 指定の電池を使ってください。
2. 電池の⊕⊖極を正しく入れてください。
3. 周囲温度が10~40℃のところに、1分以上おいてから使用してください。
4. 強い静電気や電磁波のある場所、磁石等の近くで使用しないでください。
5. 本体を収納ケースに入れる際は、本体の向きが正しいことを確認してください。
6. 転送時以外は、収納ケースをパソコンなどの電子機器に近づけないでください。
7. 収納ケースを破損、紛失した場合は、おしいただけません。
8. 収納ケースを分解して磁石を取り出さないでください。
9. アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
10. 本体は防水ではありません。本体内部に水などが入らないようにしてください。
11. 本体や収納ケースに強い衝撃を与えたり、落としたり、踏んだりしないでください。
12. 分解や修理、改造をしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵方法

(1) 次のような環境に保管してください。

- 1) 保管環境周囲温度 : -20~+60℃
相対湿度 : 10~95%RH

(2) 次のようなところに保管しないでください。

- 1) 水のかかる場所。
- 2) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 3) 傾斜、振動、重圧、衝撃(運搬時を含む)のあるところ。
- 4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

2. 耐用期間

製造日から正規の保守点検を行った場合、5年間とする。

[自己認証(自社データ)による]

【保守・点検に係る事項】

- ・使い終わったら、体温計はいつも清潔にしてください。
- ・汚れがひどいときは、やわらかい布を水またはぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
- ・体温計の感温部をアルコールに浸したり、熱湯(50℃を超える湯)で消毒しないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : オムロンヘルスケア株式会社
電話:0120-30-6606
(オムロンお客様サービスセンター)

取扱説明書を必ずご参照下さい。